

島根県子宮頸がん啓発キャンペーン実行委員会

活 動 報 告 【 1 】

島根県では、子宮頸がんと診断される方の7割を20～40代が占めており、若い世代の子宮頸がん罹患の増加が大きな問題となっていますが、がん検診受診率は低調です。

そこで、島根県子宮頸がん啓発キャンペーン実行委員会（以下 実行委員会）では、学習会や啓発活動実践者との交流をとおして、特に検診受診率が低い若い年代にあたる女子大生が自発的に女性の健康や子宮頸がんについて学べる場を提供し、学んだ知識を活用してより若い世代の受診者増加を図るため、継続した「島根の女子大生」による普及啓発活動を目指しています。

実行委員会ではこれまでに、「**女性の健康学習会**」と「**子宮頸がんに関する啓発活動実践者との交流事業 in 東京**」を実施しました。活動の概要をご紹介します。

島根県子宮頸がん啓発キャンペーン実行委員会は、島根県、島根県環境保健公社、(株)MSD、細胞検査士会島根県支部、島根大学、島根県立大学短期大学部および学生の皆さんから構成されています。

「女性の健康学習会」を開催しました

開催日・場所

第1回 8月19日(金) 松江市

第2回 8月22日(月) 出雲市

この学習会には、島根大学や島根県立大学他から松江会場には7名、出雲会場には11名の女子大生が参加しました。

島根県健康推進課主任の平田さんから「子宮頸がん予防のための啓発キャンペーン」について説明を受けたあと、島根大学保健管理センター准教授 河野先生 と細胞検査士会島根県支部 小海先生 による「若い女性に多いがん、子宮頸がんについて知ろう」と題した講演で基礎的な学習を行いました。

その後、「何でも話そう、一緒に学ぼう！女性の健康相談室」と題し、講演で分からなかったことや日頃疑問に感じていることなど、両会場とも同世代の集まりでもありお菓子をつまみながらの和気あいあいとした中で、参加者みなさんによる活発な(熱い)意見交換や先生方への質問が行われました。



松江会



出雲会場

「子宮頸がんに関する啓発活動実践者との交流事業 in 東京」

全国的に子宮頸がん予防に取り組んでいる団体等との交流の場を設け、「実践的な普及啓発のイメージを図り、今後の活動に活かす」ことを目的に、東京で2日間の活動を行いました。27名の参加者は2班にわかれ、それぞれ啓発活動の先輩であるリボンムーブメントの皆さんとグループワークをとおして交流を深めました。啓発活動の実践者との交流会では、「NPO 法人 子宮頸がんを考える市民の会」、「(株)MSD」、「(公財)日本対がん協会」それぞれの担当者から貴重なお話を伺うことができました。そして、「(株)グローバルメッセージ」阿南理恵さんからは、子宮頸がん罹患経験者からの声や啓発の視点も直接聞くことができました。急ぎ足の2日間の交流事業でしたが、参加者には今後の啓発活動への大きな足掛かりとなりました。



リボンムーブメントの皆さんと



啓発活動実践者との交流会

